

# 水俣病告発に生涯…

地球座俳優  
の砂田さん

## 水俣に移住の決意

劇団「地球座」俳優、砂田明さん(四三)「埼玉県与野市」が水俣市に移り住む決心をしている。砂田

水俣との連絡を取りながら移住の計画を進める計画。

さんは昨年夏、東京―水俣巡礼団の団長格として水俣市を訪れて以来、水俣病とのかかわりを持ち続け、水俣病の告発に生涯をかけようとしている。十五日の水俣病関係者新年会にも東京からかけつけた。

砂田さんは京都出身。二十二年神戸高等商船(現神戸商船大)機関科を卒業、演劇を志して上京、一昨年結成した地球座の代表者格。家庭は妻エミ子さん(四三)と母親の三人暮らし。子供はいない。家族も移住に賛成しているという。

## 馬奈木弁護士も

砂田さんの水俣病とのかかわりは日が浅い。昨年一月ふとしたことから作家石牟礼道子さんの「苦海浄土」を読み水俣病の悲劇を知った。昨年五月末の水俣病補償処理委員会のあつせんでは、厚生省前であつせん反対を叫んだ。

水俣病弁護団の馬奈木昭雄氏(三〇)「福岡弁護士会」が二月から水俣市に事務所を構え、移り住む。水俣病患者とともに生活し、水俣病裁判に万全を期すという。また同地方には法律事務所が一方所もなかった。

ます患者のため行動を起こすというので、東京から水俣までの巡礼団を率いて水俣入りしたのは昨年七月。現地水俣で旅したくを解き一カ月間ほど滞在、その間患者家庭間の巡礼で「水俣病の悲惨さ、その根の深さをわが身に刻み込んだ。私の生きるということでは水俣病にかかわっていることです。これを生きる道と決めた」と言う。

その後、全国に独演会形式の演劇を通じて患者の苦しみを訴えて歩いた。ことし一年も同様全国行脚で患者のため「苦海浄土基金」のキャンペーンを精力的に続け、その間